




立教大学オーガニスト・ギルド
英国研修支援 
リクエスト・コンサート

「思い出の曲」、「あの人に捧げる曲」など、オーガニスト・ギルド周りの関係者からリクエストされた曲をティッケルオルガンで演奏いたします。入場料は全額、2025年2月末から行われる英国研修を支援するために使われます。チャペルで奏楽奉仕をしているギルド生たちの学びの為、皆様のお志をお願いいたします。

日時：2024年12月8日（日）

開場 14:30 開演 15:00－16:00

場所：立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋キャンパス）

演奏：崎山裕子（立教学院オルガニスト）

守 航平（連弾共演、2017年卒）

入場料：1,000円 定員：200名

定員になり入場制限する場合がありますので
事前に右のQRコードでお申込みいただければ
幸いです。



プログラム：「前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV 552」J. S. バッハ

「コラール第1番 ホ長調」セザール・フランク

「巨匠タリスの遺言」ハーバート・ハウエルズ

「赤とんぼ」ギ・ボヴェ 「鏡」アド・ヴァメス

「花のワルツ」（連弾）P. I. チャイコフスキー ー他ー

主催/お問い合わせ：立教大学オーガニスト・ギルド z4000106@rikkyo.ac.jp

立教大学オーガニスト・ギルドは、池袋キャンパスの諸聖徒礼拝堂と新座キャンパスの聖パウロ礼拝堂でオルガン奏楽の奉仕をしている学生キリスト教団体です。諸聖徒礼拝堂が献堂された1919年、初代聖歌隊長・オルガニストに就任したE. ガントレットは、米国聖公会ニューヨーク教区婦人補助会から寄贈されたエスティオルガンを自らの手で組み立てました。鍵盤楽器の素養がある大学生にオルガン奏法を教授し聖歌隊伴奏者に任命したことが「オーガニスト・ギルド」の始まりです。現在、学院オルガニストによる個人レッスンや毎週昼休みに行う勉強会で研鑽を積み、昼の礼拝や主日礼拝、大学の各サークルが捧げる特別礼拝の奏楽を担当し、学園祭やクリスマスでコンサートを開催しています。



立教学院が属する日本聖公会は英国国教会（Anglican Church）の流れを汲むキリスト教の教派です。日々の礼拝で歌う聖歌、前奏や後奏で弾いている英国のオルガン音楽について学びを深め、それを奏楽に活かすために2025年2月から3月にかけて7回目の英国研修を予定。リッチフィールド大聖堂をはじめ、オックスフォード大学やケンブリッジ大学の各カレッジ・チャペル、ロンドンの大聖堂や教会で、オルガン見学や現地のオルガニストからレッスンを受けるプログラムを計画しています。

崎山裕子（さきやま ゆうこ） 国立市出身。国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。



聖グレゴリオの家宗教音楽研究所本科修了。スイス・バーゼル音楽院オルガン科に留学し、ギ・ボヴェ氏に師事。1997年7月コンサートクラスを最優等で修了。米ボストンのニューイングランド音楽院へ短期留学し、故・林佑子氏に師事し、1998年に帰国。2003年4月、立教学院オルガニストに就任。式典や礼拝の奏楽者、立教大学オーガニスト・ギルド指導者、立教大学大学院キリスト教学研究科兼任講師を務めている。

守 航平（もり こうへい） 神奈川県出身。4歳よりピアノを始め、

第13回洗足学園ジュニア音楽コンクール高校生の部最優秀賞、第23回日本クラシック音楽コンクール大学男子の部最高位、第9回セシリア国際音楽コンクール大学生の部第3位、

ならびに大阪国際音楽コンクール賞。2017年、立教大学観光学部卒業。在学時、オーガニスト・ギルドに所属しオルガンを



崎山裕子に師事。卒業後も、立教学院聖パウロ礼拝堂の主日礼拝奏楽、立教学院諸聖徒礼拝堂で行われる結婚式の奏楽者を務めている。